

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	年 月 日		～ 年 月 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	年 月 日		～ 年 月 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○訪問先施設評価実施期間	年 月 日		～ 年 月 日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)		(回答数)
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種で訪問を行うことで様々な視点で支援を行える	月毎に、別の訪問員で行かせてもらうことによって違う視点で見ることが出来、職員の情報共有で訪問支援に活かすことが出来ています	今後も、様々な訪問員で行かせてもらう事で児童の支援に役にたればと考えています
2	放課後デイサービスにも活かすことが出来る	訪問支援を行うことで、課題を見つけることが出来、それを放課後等デイサービスにも活かすことが出来ている。学校での児童と、デイサービスでの児童がまた違う課題があるので、保護者と情報共有が出来、課題解決や違う課題を一緒に見つけることが出来る	今後も、保護者・学校と連携を図ることでさらなる情報共有を行い児童の課題解決を図っていきます
3	保護者・学校と情報共有を含めた連携をすることが出来る	訪問支援を行うことで、学校に放課後デイサービスでの様子も伝えることが出来、学校の課題を保護者にも伝えることが出来る。また、学校と保護者の架け橋をする事で意識のズレを最小で止めることが出来る	保護者・学校・事業所の連携を今後も行うことで、課題解決を迅速に行えるように努めていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人員の確保	専従の訪問員の配置が難しく、放課後デイサービスの兼任になることで人員の確保、訪問日の調整が難しくなることもみられている	グループ全体として、人員の確保をしてもらうのと同時に訪問員の専門性の向上に努めていきます
2	支援の質の向上	現在訪問員が2名で訪問を行っている関係で、質の向上を目指した研修等の参加が厳しい状況で、今後の事を考えると研修等に参加することで質の向上が必要と思います	更なる人員を確保することで、研修にも参加出来、質の向上職員のスキルアップに繋がると考えています
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス 果実の木 新須屋

公表日 年 月 日

利用児童数 年 月 日

回収数 7

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	
						ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	5			2		
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	5			2		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	7					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	7					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	6			1		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	6			1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思えますか。	7					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。	6			1		
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	6			1		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。	7					
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。	6			1		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7					
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	5			2		
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思えますか。	7				送迎時に教室での様子や本人の気持ちを話してくれています	今後も、保護者に児童等の気持ちをお伝えしていきたいと思えます
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。	7					
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6			1		
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。	7					
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思えますか。	5			2		
	21 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思えますか。	6			1		
22 保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思えますか。	7						

非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5			2		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	7					
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7					
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	5	1	1			
	28	事業所の支援に満足していますか。	7					

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日 年 月 日

利用児童数 年 月 日 回収数 7

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	6	1		助言を頂くことは少ないですが、気づきは伝えてもらって大丈夫です	今後は、気づきを積極的に担任の先生へ伝え、情報共有を行っていきます
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	7			穏やかに、丁寧に、的確に支援や声掛けをしてくれています	
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	6	1		こちらから質問はあまりしていないかもしれないが、様子や見解など分かりやすく伝えてくれています	
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	6	1		見てくださるだけで、児童の意欲が高まったり気持ちをセーブ出来たりしていると思います	
5	事業所からの支援に満足していますか。	7			いつもありがとうございます	
其他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> 今後も情報共有を続けてもらえるとありがたいです 専門性を生かして、子どもたちのために、力を合わせて、社会環境を作って行けたらと思います 						

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス 果実の木 新須屋		公表日		年 月 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境 制 整 運 営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	1	1	基本的に学校の教材に合わせて訪問を行っている。児童によっては、こちらで準備して持参している	本来、一人ひとりの教材を準備する事で良い支援に繋げることが出来るので改善していきま	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2		配置は満たしているが、人手が足りない状況だと考えられる	訪問員の数を増やせると、訪問日数の増加が出来るので検討したい	
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2		目標決定、振り返り等を職員全員で行い、考えや意見を共有している		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		保護者の意見を、職員全員で情報の共有を行うことが出来ている	意見を聞き、今後の課題としてどのように業務に生かしていくか検討していく	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		全体で、業務や支援について話し合う機会を定期的に設けている	話し合いの中で、改善できる点は早急に行う様にしている	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	1	評価結果を真摯に受け止め、業務改善つ繋げられる様に努めている		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	1	1	定期的な研修を会社全体で行うことが出来ている	会社全体だけでなく、地域での研修にも積極的に参加できる機会を設けていく	
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2		定期的に事業所内で、アセスメントやモニタリングを実施し、それを元に計画を作成している	今後は、毎日1人アセスメント又はモニタリングを実施していくことでより良い支援を目指していく	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2		職員全員で、計画を作成する際に情報共有を含めたモニタリングを実施している	計画変更があった際は、その都度職員で会議を実施し共有できるようにしていく	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2		支援計画を作成する際は、様々な担当者の意見を参考にしううえで計画に盛り込む様にしている	訪問員やすべての関わっている関係者の意見を考慮した計画を作成できるように改善していきたい	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		訪問支援計画を元に訪問員が支援できるように心がけている。	訪問途中で変更が必要な際は、関係者と相談し変更を検討していきたい	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	1	個別支援計画に基づいて、必要な際は行っている	フォーマル、インフォーマルに関係なくツールを今後は活用できるように検討していきたい	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2		保育所等の個別支援計画には、具体的な内容を盛り込んだ計画を作成している	支援内容を定期的にモニタリングを行い、変更があった際は、計画を再作成行う様に検討していく	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		個別支援計画を作成した際は、職員全員で計画を共有し、支援を行っている	計画に沿った支援を行う際に、変更した方がいい時は、情報発信できる会議を出来様に検討していく	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2		業務前には、送迎を含めて活動内容の打ち合わせや連携して行うことを詳しく行っている	朝から利用の際は、前日に打ち合わせがしっかりできるように、検討していく	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2		基本的に、業務終了後に支援の振り返りを行い共有事項の確認を行っている	送迎の兼ね合いで、振り返りが出来ない事があるので、翌日の朝礼で確実に情報共有が出来るように改善していく	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2		保育所等訪問の際は、しっかりと担任の先生と連携を図りながら、支援を行うようにしている	担任の先生と学校の様子と、事業所の様子を共有しながら連携を図れるように改善していく	
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2		毎日の支援記録は必ず残すようにしている。それを元に、以前の活動の様子を振り返れるように行っている	朝礼でも振り返りが出来るように、記録の徹底は今後も行えるようにしていく		
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2		職員全体でモニタリングを行い、一人一人の計画の見直しを行えるようにしている	計画を立てる際は、一人の意見だけでなく、職員全体の意見を反映できる計画の作成が出来るように改善していく		
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2		会議には基本的に児童発達支援管理責任者が参加している	難しい際は、児童と長年関わってきた職員が参加するように努めている		

関係機関や保護者との連携	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2		学校関連との連携は、何かあった際は出来るように行っている	医療機関との連携は現在の所出来ていない事が多いので、連携が出来るように今後は努めていく
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2		就学の際の情報共有は、間接的に相談員からの提供はあるも保育園や幼稚園から直接的には出来てない	今後は、新一年生の利用の際は情報提供を含めた連携が出来るように検討していく
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2		定期的な研修を会社全体で行うことが出来る	会社全体だけでなく、地域での研修にも積極的に参加できる機会を設けていく
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2		地域の子ども部会には、極力参加するように努めている	参加後は、職員間で情報共有をしっかりと行い今後の業務改善に活かせるように改善していきたい
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2		普段の送迎の中で、児童の活動の様子を伝えていきます。その際に保護者の困り感を聞き職員同士で共有している	解決できる際は、職員で話し合いを行い、保護者に解決案又は提案をするように努めている
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	1	家族参加型の活動プログラムは年に2回程実施しているが、家族支援プログラムは出来ていない	今後は、家族会を実施し保護者同士の情報共有を行うことで、不安感を軽減できるように努めていく
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2		新規契約や更新契約の際等変更があった時に説明を行うようにしている	現在は、特定の職員しか出来ていないので、今後は全職員が説明が出来るように研修等含めて改善していく
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2		年度の始まりには、訪問先に訪問し保育所等訪問の説明をしっかりと出来る様にしている	年度初めは、訪問先の校長先生が変わることもあるのでしっかりと挨拶できるようにしていく
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2		個別支援計画を作成する際は、送迎の際に保護者や児童のニーズを必ず確認するようにしている	保護者や児童からニーズを聞いた職員は他の職員と情報共有を行えるように努めていく
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2		個別支援計画を作成した際は、保護者に計画を説明した上で同意を貰うようにしている。納得が頂けない際は、再度計画書を作成している	作成した個別支援計画は、全職員が説明できるように職員が確認し、それに沿った支援を行っていく
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2		保護者から相談あった際は、その都度傾聴を行いその場で対応できるときは助言を行っている	その場で対応が難しい際は、持ち帰り職員で話し合いを行い、保護者に対しては早めの対応を行うようにしている
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		2	保護者同士での交流をする機会は中々、設ける事が出来ていないのが現状である	今後は、保護者会での交流が出来る様に検討していく
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2		保護者又は児童から相談があった際は、すぐに対応できるようにしている	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2		毎月、お便りや定期的なSNSの発信を行う様にしている	SNSでは、個人情報に最新の注意を払いながら今後も発信できるように努めていく
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		個人情報の取り扱いには、十分に注意しながら情報提供も踏まえて行っている	情報提供の際は、事前に許可を取ったうえで行っているが、今後も留意しながら努めていく
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2		個人に応じた支援を行っている。情報伝達も事前に保護者に確認しながら行っている	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2		訪問先からの相談があった場合は、その都度相談に応じ情報共有を行うようにしている	必要に応じて、今後は家族を含めた会議が実施できるように改善していきたい
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2		訪問後に、報告書の説明を行う際に改善点や課題を情報共有出来るように行っている	今後は、関係機関を含めた会議を定期的実施出来る様に改善していきたい
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2		訪問後は、直接又は電話で訪問の様子の報告を行っている。その際に、情報共有を行い、次回の訪問に生かせるようにしている	情報共有したことを、次回の訪問で注視して支援できるようにこれまで以上に改善していきたい
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		個人情報の取り扱いには、十分に注意しながら情報提供も踏まえて行っている	情報提供の際は、事前に許可を取ったうえで行っているが、今後も留意しながら努めていく
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2		訪問先からの相談があった際は、相談委に応じた適切な助言を行っていると思う	今後は、より専門性の知識を研修等で学びながら訪問先お互い意見を言える様に検討していきたい
42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2		全部は行っていない部分はあるが、避難場所の周知や避難関連を実施している	今後は、すべての防犯マニュアルの周知を保護者に出来る様に努めていく	

非常時等の対応	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2		定期的な研修の実施を行っている	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2		ヒヤリハットがあった際は、その日又は朝礼で原因と対応策をしっかりと職員間で話し合うようにしている	記録にもしっかり残し、振り返りを出来るように検討をしっかりと行っていく
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2		会社全体で、虐待防止の研修を実施しています。そして、地域での研修にも積極的に参加するように努めています	地域の研修には、事業所の職員が参加出来る様に今後も行っていきます
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2		契約の際に身体拘束の同意書の説明を行い納得した場合サインを頂くようにしている	